

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第5号

令和3年6月30日(水)

校長 福沢 俊之

Tel 03(3831)3787

学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>



↑更新中



運動会を終えて

校長 福沢俊之

6月20日(日)、リバーサイド陸上競技場にて本校第20回運動会を挙行、大過なく終えることができました。閉会宣言の中で、生徒会長の〇〇〇〇さんから全校生徒に向けて「実施できたことに感謝をしよう」というメッセージがありました。まさにその通りだと思います。感染症対策、熱中症への対策、天候への対応などを考えると、実施できたことは決して当たり前ではないと感じています。生徒、教職員の努力だけでなく、PTA役員の方々のご協力、保護者のみなさまをはじめとして多くの方々のご理解があったことを忘れてはならないと思います。

開会式での校長あいさつにあたり400名の生徒が整然と並んでいる光景を演台から見たとき、学校が学校としての役割を果たす機会が来たという感覚を覚えました。全校生徒が一堂に集まることがなかった昨年度を思うと、今年度、校庭に全校生徒が揃って始業式を行うことができたこと、また5月には、スポーツテストのためにこの陸上競技場に全員が集まり、思い切り体を動かして自分の記録に挑戦していたこと、こうした恒例の行事一つ一つの意味を考え、実施できることへの新鮮な喜びがありました。

3学年が揃えば、並んでいるだけで、一礼をするだけで、それぞれの学年らしさが見えてきます。その学年らしさはそのまま生徒の成長の軌跡になると思います。本校は、上の学年の生徒の背中を見て、下の学年の生徒が育つ学校であり、また、そのようにいっていただきました。それは生徒の成長があればこそであり、生徒の成長がなければ学校が学校の役割を果たしたことはありません。そして、一人ひとりの成長を促す「学年集団」の成長を図ることも、学校の大切な役割だと思っています。

さて、運動会のスローガンは、「一致団結 グランドに輝く御台魂」でした。「魂」とは、生命の原動力、私たちの活動を支える精神や気力のことです。わずかでも先へ出ようと競い合う姿、距離は離れていても必死に前を追う姿、慎重に集中してボールや箱を運ぶ姿、大きな声は控えながらも一生懸命仲間を応援する姿、どの姿にも生き生きとした様子がありました。また今年は、3年生全員で踊ったソーラン節を、1、2年生にスタンドの席から見てもらいました。全身を激しく大きく躍動させることで波や網を引く様子を表現した3年生、思う存分踊りきることができたでしょうか。また、3年生の迫力は、1、2年生にどのように伝わったのでしょうか。

この運動会を通して一人ひとりが、「生命の原動力」となるべく学校生活への意欲につなげてくれたことを期すると共に、学年を超えての縦のつながり、成長の軌跡が残せたことと思っています。

保護者のみなさまには、ご来場いただいたの参観がかなわず残念でしたが、PTA役員のみなさまのご協力により、ライブ配信をさせていただきました。少しでも、臨場感をもって生徒たちの生き生きとした姿をご覧いただけたのであれば幸いです。

運動会の思い出 3年1組

私が運動会で心に残ったことは二つあります。一つは全級リレーです。私は運動がとても苦手で、リレーで抜かれてしまって、クラスの足を引っ張ってしまったらどうしようと、毎年思っていました。練習の度に、クラスのバトンパスのスムーズさやクラスの団結力より、自分のことばかり考えてしまっていました。ですが当日、リレーが始まってその私の不安は消え去りました。前の人からバトンをもらった瞬間、私もクラスメートとして次の人にバトンを渡す使命感が生まれました。練習では気にしていなかった後半も応援することができ、最後の一位争いで、一位になったときは、思わず声を上げて喜び、達成感を分かち合うことができました。

もう一つはソーラン節です。一年生の運動会の後、約二年ぶりに踊る事になり、はじめは伝統のソーラン節の踊りには、きっと近づけないと思っていました。練習する度に筋肉痛になる足を理由に、全力を出さなくてもいいのではないかと考えてしまう程本番近くまで、やる気がありませんでした。本番の衣装を着て列に並ぶと、スタンドに後輩の姿が見えて、私の中で適当にやっではだめだ、という思いがわき上がってきました。ソーラン節を一度も踊ったことのない、一・二年生の見本となるような踊りになったかは分かりませんが、今までの中で一番全力を出して踊ることができました。運動会でのこの二つの体験は、私に年上であることの自覚と、周りを見て真面目にやることの重要性を感じさせてくれました。「当たり前のことを当たり前にする」ことを忘れず、これからも頑張りたいです。



運動会 3年3組

僕はこの運動会でいろいろなことを学びました。例えばチームメイト、クラスメートとの団結の大切さや助け合いの重要性など、いろいろなことを学ぶことができました。特に団結力はチームで一番必要なことだと僕は思いました。なぜなら、「全級リレー」「台風の日」などの競技は、すべて団結力が大事だからです。バトンの時なども渡し手だけでなく、受け取る方も頑張らなくてはなりません。そういう面では団結力はチームの勝利にとって、とても大事だと実感しました。

二番目に大事だと思ったのは助け合いです。なぜなら「全級リレー」や「台風の日」はクラス対抗だからです。だから、誰かが困っていたら助けたり、自分が困っていたら助けてもらったりの、助け合いが大事だと思いました。この運動会であいにく三組は負けてしまったけれど、この運動会を通して、大きなものを僕は得られたと思いました。

その中で特に大事な、「助け合い」と「団結」を忘れないで、これから先の人生にそれを生かしていけたら良いな思いました。

